

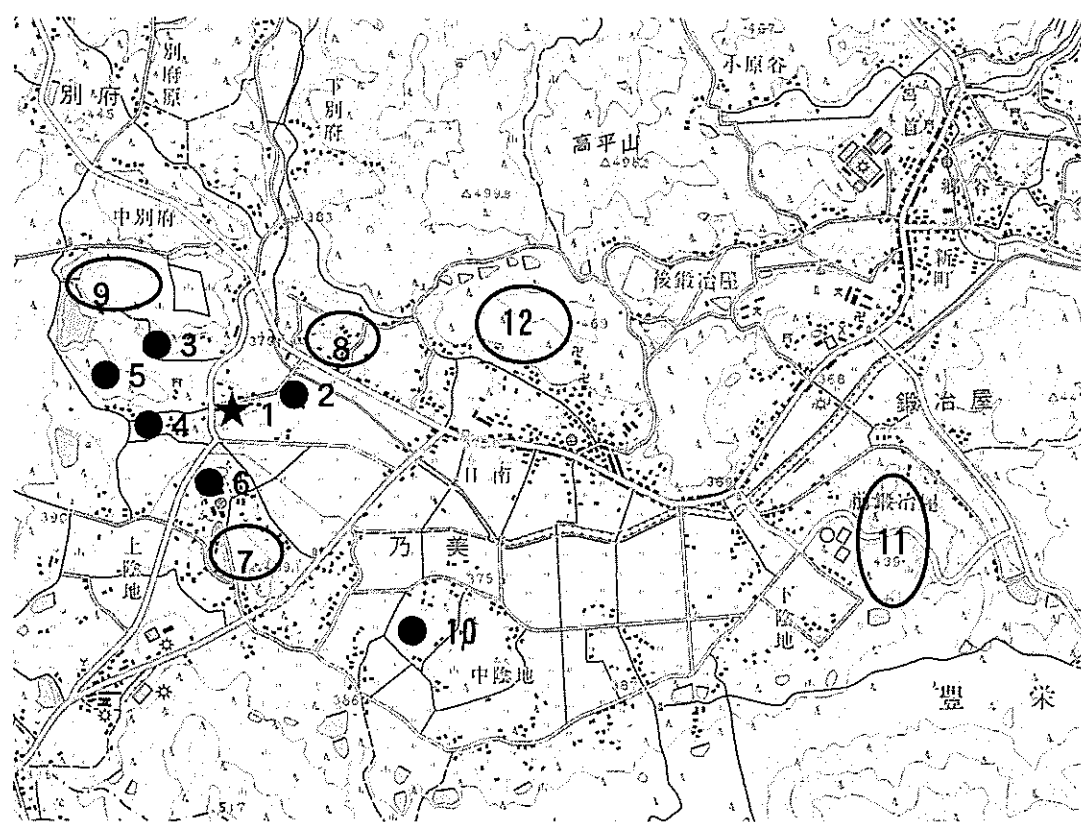
乃美1号遺跡現地見学会資料

平成23年9月4日（日）

財団法人東広島市教育文化振興事業団
東広島市教育委員会

はじめに

乃美1号遺跡は、県営経営体育成基盤整備事業（※ほ場整備）に伴って、平成23年5月から発掘調査を実施しています。この遺跡は、西から東に伸びる低い丘陵上に立地していて、発掘調査では弥生時代と中世の集落跡が検出されています。



第1図 乃美1号遺跡と周辺の遺跡

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1 乃美1号遺跡 | 2 乃美2号遺跡 | 3 乃美3号遺跡 | 4 乃美4号遺跡 |
| 5 宮が迫古墳群 | 6 賀茂北高校遺跡 | 7 行宗古墳群 | 8 助貞古墳群 |
| 9 沢田平古墳群 | 10 大塚谷遺跡 | 11 山王古墳群 | 12 宇都山城跡 |

主な遺構

今回は、西から東に伸びる丘陵の南向きの緩やかな斜面の一部を発掘調査しました。その結果、多くの遺構が重なり合って見つかりました。

中世の遺構

調査によって、まず見つかったのは、黒色の地面（黒色土：遺跡の北側は削られて残っていない）に掘り込まれた、たくさんの小さな穴と浅い溝です。たくさんの小さな穴は、ピットと呼ばれ、多くは掘立柱建物跡（SB2など）の柱を立てるために掘られた穴や、杭を立てた穴（SA1など）と考えられます。

中世の遺構が作られていた黒色土の面を取り除いた下から、弥生時代の住居跡が見つかりました。

弥生時代の遺構

現在までに7棟の竪穴住居跡（SB1・SB3～SB8）が見つかりました。多くの住居跡はそれぞれ数回にわたり建て替えられ、拡張されています（SB1・SB3・SB5・SB6）。おそらく、子供が増えるなど、居住する人員が増加したり、作業空間が必要となったりするなどの要因があったものと推測されます。

また、住居跡どうしが重なり合った状況で検出されています（SB3⇔SB8⇔SB7⇔SB5⇔SB8）。これは、それぞれの住居の存続した時期が少しずつ異なっていることと、この住居の密集する場所が、生活するのに都合の良い場所であり、似たような選地をした結果、かつて住居があった所に新たに住居が作られることにより、重なり合うという現象が起きたためと考えられます。

住居跡が全て埋まった後、これらの住居があった場所を貫くように、溝（SD7）が作られています。この溝からは、多量の土器がまとまって出土しました。土器の出土した状況から、溝の半分以上が土砂で埋まって、溝としての機能が失われかけた段階で、窪みをゴミ穴として土器を大量に廃棄することに利用し、溝を完全に埋め立てたと考えられます。

主な出土遺物

上述したように、遺跡を覆っていた黒色土（遺物包含層）の中に弥生時代（前期～後期）の土器が多量に含まれていました。また、調査区の南端部（SX2）には、拳大～人頭大の礫が多量に集まっていましたが、その中にも多量の弥生土器が含まれていました。

竪穴住居跡から出土した土器は、弥生時代中期～後期のものと考えられます。

また、SD 7 に捨てられた多量の土器は、弥生時代後期末～古墳時代初頭頃のものと考えられます。

SB 6（埋土）から碧玉製管玉 1 点が、SB 8（床面）からガラス小玉 1 点が出土しました。これらは装飾品で、多くは墳墓から出土する例が多いのですが、今回のように住居跡から出土することは珍しいといえます。

東広島市内の弥生時代の住居跡から出土した例は次のとおりです。

遺跡名	場所	遺構名	出土品	時代
浄福寺2号遺跡	高屋高美が丘	SB65 床	ガラス小玉 2 点	弥生時代後期中葉(古)
		SB25b 床	ガラス小玉 1 点	弥生時代後期中葉(新)
天神遺跡	高屋高美が丘	SB2	凝灰岩製管玉 1 点 ガラス小玉 1 点	弥生時代後期前葉
横田1号遺跡	西条町寺家	SB10	ガラス管玉 1 点 ガラス小玉 2 点	弥生時代後期前葉
		SB29	ガラス小玉 1 点	弥生時代後期後半

なお、豊栄町内の中屋遺跡では、古墳時代前期前葉の住居跡からガラス小玉が 2 点出土しています。

おわりに

今回は、限られた範囲の発掘調査ではあったが、多くの情報を得ることができました。これらの成果は、乃美地区だけでなく、豊栄町や東広島市の歴史を考える上で、大変貴重な資料となるでしょう。

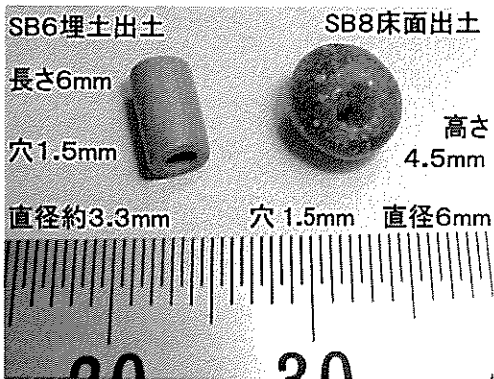
- ①弥生時代前期～後期末期の土器が多量に出土した。
- ②弥生時代中期～後期の住居は、何度も建て替え（拡張し）た様子が伺える。
- ③住居跡から見つかることが珍しい玉類が出土した。
- ④弥生時代中期～後期の住居跡を壊して造られた溝に弥生時代後期末～古墳時代初頭頃の土器がまとまって捨てられていた。
- ⑤ある時期に、黒色土が遺跡の広い範囲を覆った。
- ⑥古墳時代及び古代を代表する焼物である須恵器が出土していない。
- ⑦弥生時代後期末～古墳時代初頭頃の溝の後、中世まで空白の時間がある。



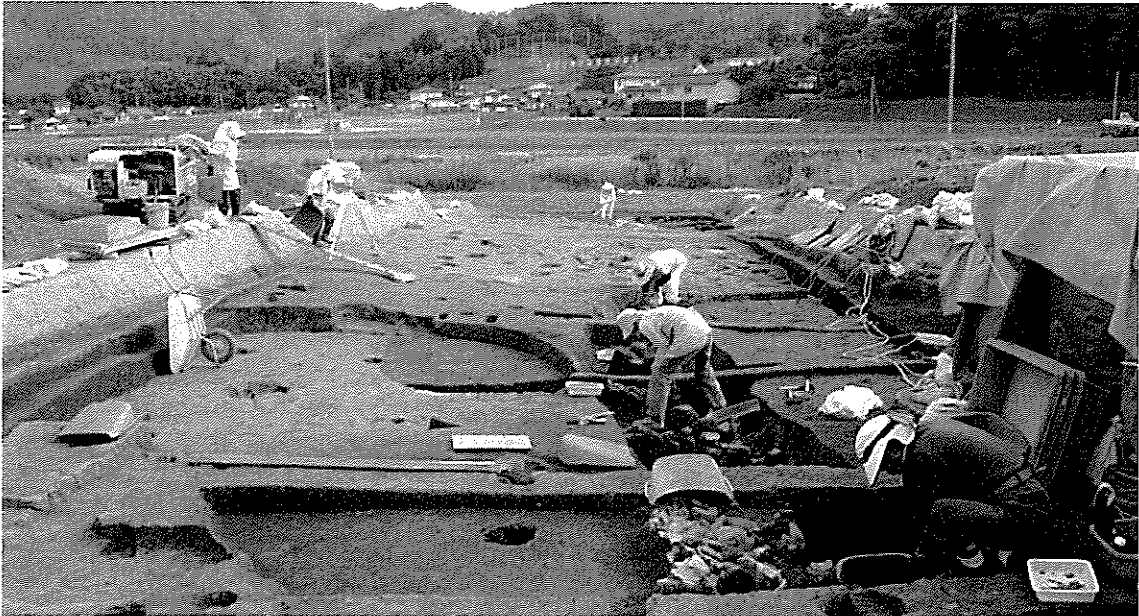
乃美1号遺跡(B区)空中写真



SD7遺物出土状況



出土した玉類



SD7 ↑

作業風景

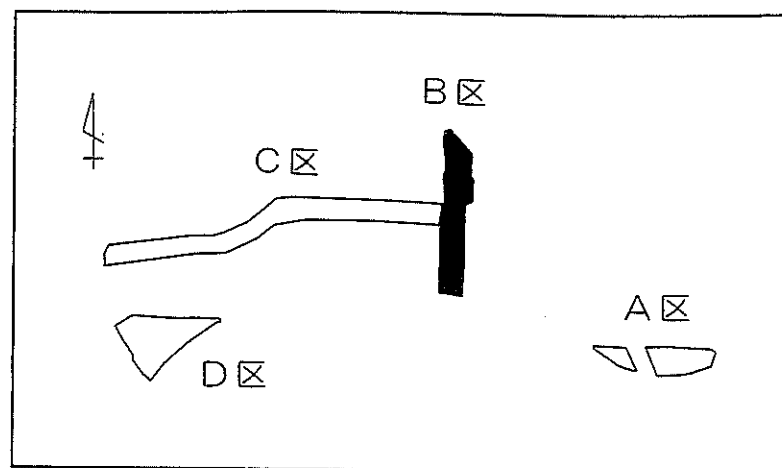


図2 乃美1号遺跡調査区

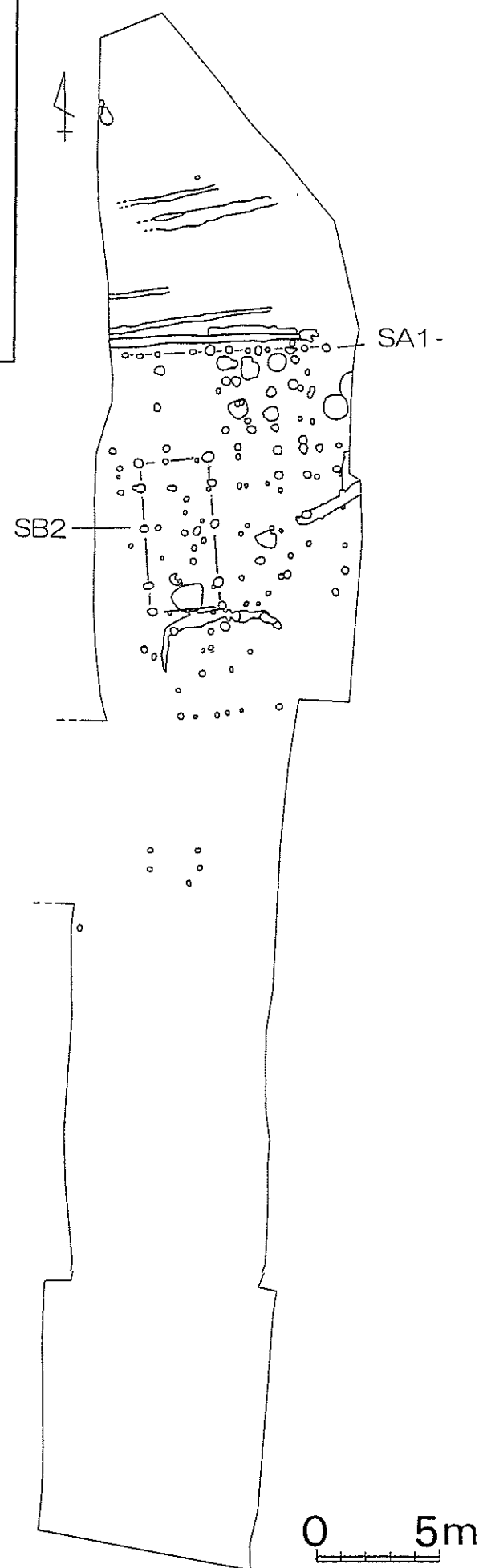


図3 第1面遺構配置図

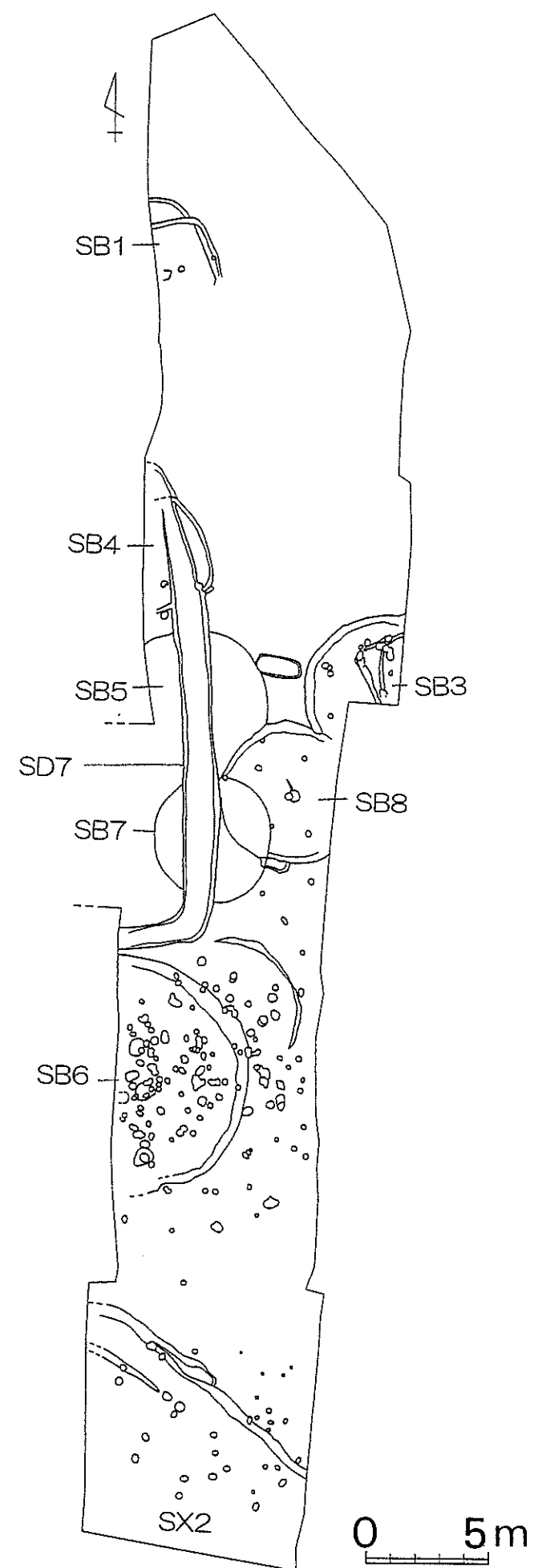


図4 第2面遺構配置図